

2024年2月27日

2023年度聖路加国際大学大学院看護学研究科

課題研究

助産師によるオンラインを活用した

妊産婦相談の特徴：質的研究

Advantages and Disadvantages of Midwives' Online

Consultation with Pregnant Woman:

A Qualitative Study

22MW006

川名 彩美

要旨

【目的】

本研究は、A 県助産師会で行っているオンラインを用いた助産師による妊産婦相談について、妊産婦へのオンライン相談を実施している助産師を対象とし、オンライン相談の利点や欠点といった特徴を明らかにすることを目的とした。

【方法】

本研究は、質的記述研究であり、オンライン相談の経験がある助産師 6 名に対して半構造的インタビューを行った。逐語録を作成し、オンライン相談の長所および短所に関する記述を抽出し、コード化した。同じ内容のコードからサブカテゴリーを作り、さらに抽象化し、カテゴリーを生成した。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認(承認番号：21-A031)を受けてから行った。

【結果】

オンライン相談の妊産婦にとっての長所として【自宅にいながら専門家に相談をすることができる】【相談者・相談員がいる場所に制限しない】【周りに気を遣わずに安心して相談ができる】【他の支援と比較してハードルが低い】【悩みをタイムリーに相談できる】の 5 つのカテゴリー、さらに助産師にとっての長所としては【視覚を支援に活かすことができる】【児や妊産婦の様子を観ることができる】の 2 つのカテゴリーが抽出された。また、オンライン相談の妊産婦にとっての短所として【対面のような安心感が得られない】【オンライン相談のシステムに合わない人もいる】の 2 つのカテゴリー、助産師にとっての短所として【助産師のオンライン相談の経験が対面での支援より少ない】【身近な存在としての対応ができない】【画面越しでの視覚的情報では的確に相談者を捉えられない】【触れることができない】の 4 つのカテゴリーが抽出された。

【結論】

オンライン相談は物理的に距離のある支援で、対面のように寄り添ったり身近な存在としての支援を実施したりすることができないという短所があるが、COVID-19 などの感染対策に有用なほか、自宅からインターネットを活用して専門家に相談をすることができるため、利用者が気軽に自分に合った情報を得ることができる支援であることが明らかとなった。今後も妊産婦の孤立を防ぐために新たな相談方法としてオンライン相談は有用であるといえる。